

令和6年4月1日

## 学校法人 東洋英和女学院

### 次世代育成支援対策行動計画

本学院はキリスト教に基づく女子教育機関としての140年の伝統の上に、多くの女子の人材を社会に輩出してきた。学院の基礎はカナダ婦人宣教師によって築かれ、以来、働く女性のロールモデルを今日まで示してきたと言える。

現在も女性教職員の割合が高い中で、育児休業の取得及び復帰率が高いことから分かるように、仕事と子育ての両立支援を支えてきた。

今後も現在以上に、仕事と子育ての両立が可能なワークライフバランスのとれた労働環境をつくるために、以下の行動計画を引き続き策定する。

この計画が誠実に実行されることによって、すべての教職員がその能力を十分に発揮し、さらには本学の教育の質を高めることになり、社会全体への貢献につながることを期待する。

1. 計画期間 令和6年4月1日から令和10年3月31日までの4年間

2. 内容

目標1 育児と仕事の両立が不可能となり退職した者が希望すれば、パートタイマーまたは嘱託職員として復帰できる制度の導入を検討する。

《対策》

育児との両立が不可能で退職した職員のうち、一部の教育職員は非常勤講師として職場復帰を果たしているが、一般職員も含めて現場のニーズとマッチングしてパートタイマーまたは嘱託職員として採用するシステムを検討する。

目標2 令和10年3月末までに教職員全員の所定外労働時間の削減に努める。

《対策》

一般職員および教育職員（中高部・小学部・幼稚園）についても、高い教育レベルを維持しながら所定外労働時間の削減に努めるよう、各部所属長に働きかける。

以上